

# 1 事故経験

## ① 事故経験

事故を経験した者の割合が高かったのは、総じて米国の高校生である。「階段から落ちた」が7割、「蜂や毒虫に刺された」が6割弱と、多くの項目でその割合が4か国中最も高かった。中国は「歩いていて自転車にぶつけられた」が3割弱で、他の3か国に比べて高い。韓国は、「これらの経験がない」と回答した割合が3割強で4か国中最も高い。日本が高いのは、「階段から落ちた」で5割の者が経験したと回答している。

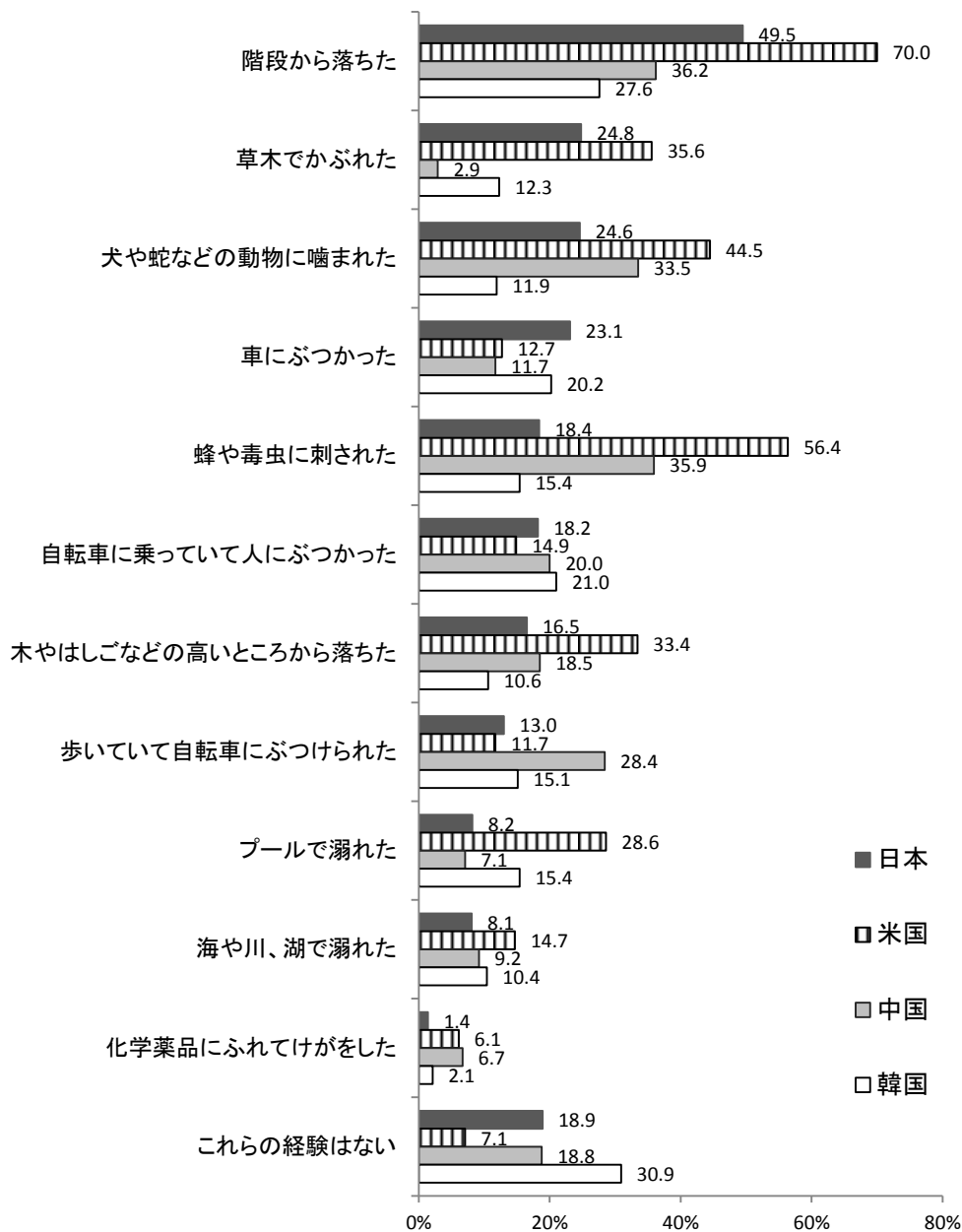


図 1-1 事故経験（複数回答）

事故経験について、「車にぶつかった」「階段から落ちた」など11項目を挙げ、経験したことがあるものを複数回答してもらった。図1-1に示しているように、4か国とも「階段から落ちた」と回答した者の割合が最も高い。米国は70.0%に達し、日本49.5%、中国36.2%、韓国27.6%となっている。

また、日本は、「草木でかぶれた」「犬や蛇などの動物に噛まれた」「車にぶつかった」の経験率がいずれも25%弱となっている。

米国は、「蜂や毒虫に刺された」(56.4%)、「犬や蛇などの動物に噛まれた」(44.5%)、「草木でかぶれた」(35.6%)、「木やはしごなどの高いところから落ちた」(33.4%)、「プールで溺れた」(28.6%)、「海や川、湖で溺れた」(14.7%)といった項目はいずれも他の3か国に比べて高い。

中国は、「歩いていて自転車にぶつけられた」が28.4%で他の3か国に比べて高い。

韓国は、「これらの経験はない」と回答した者の割合が30.9%で4か国中最も高い。「階段から落ちた」(27.6%)、「犬や蛇などの動物に噛まれた」(11.9%)、「蜂や毒虫に刺された」(15.6%)、「木やはしごなどの高いところから落ちた」(10.6%)といった4項目がいずれも他の3か国に比べて低い。

## ② けがや病気の経験

けがや病気を経験した割合が高いのも米国の高校生である。「切り傷」「打撲、捻挫」「擦り傷」の割合がいずれも8割前後と高く、「やけど(熱傷)」も5割弱で、4か国中最も高い。

日本が上位となったのは、「擦り傷」(77.4%)「切り傷」(63.1%)「打撲、ねんざ」(49.8%)である。

「擦り傷」「切り傷」など13のけがや病気を例示して、経験したことがあるものを複数回答してもらった。図1-2は、日本の回答率の高い順で並べたものである。

日本は「擦り傷」が77.4%で最も多く、次いで「切り傷」63.1%、「打撲、ねんざ」49.8%となっている。米国は「擦り傷」「切り傷」「打撲、ねんざ」の3項目とも80%前後の高い経験率である。「やけど(熱傷)」が47.5%と、日中韓を大きく上回った。また、「肉離れなど筋・腱損傷」「骨折、脱臼」「頭部外傷、脳しんとう」「感電」の割合も他の3か国に比べて高い。中国が上位となったのは日本と同じく、「擦り傷」(72.7%)、「打撲、ねんざ」(51.4%)、「切り傷」(31.1%)である。但し「切り傷」の割合は他の3か国に比べて低い。そのほかに、「熱中症、熱射病、脱水症状」が19.8%で4か国中最も高い。韓国は、「刺し傷」が30.9%と4か国中最も多く、「擦り傷」、「打撲、ねんざ」「やけど(熱傷)」「熱中症、熱射病、脱水症状」「骨折、脱臼」が4か国中最も少ない。

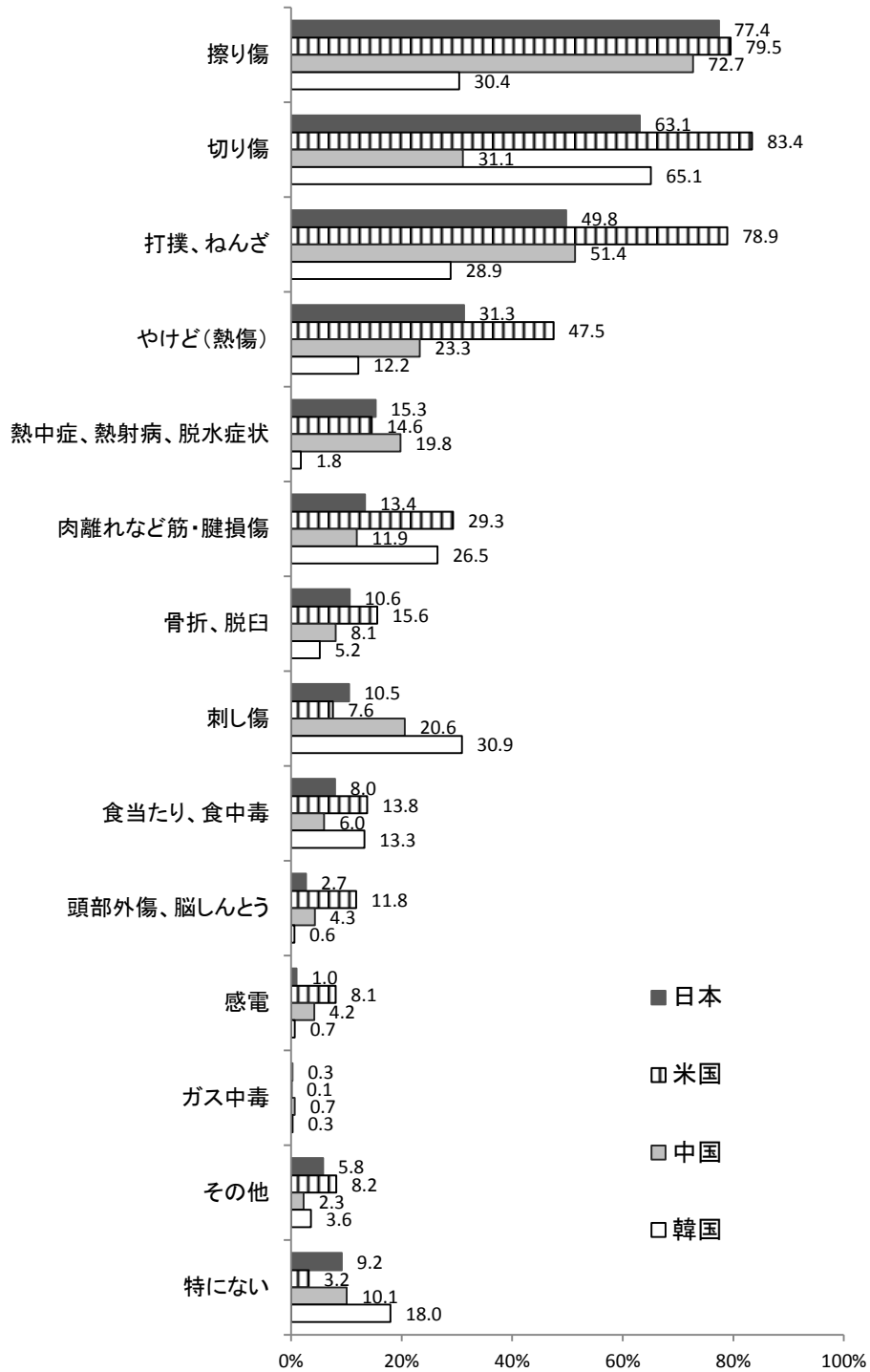


図 1-2 この 1 年間、経験したけがや病気(複数回答)

### ③ けがや病気の治療、場所など

この一年間、けがや病気で病院で治療を受けた回数が「4回以上」と回答した割合が多いのは日本と韓国であり、少ないのは、中国と米国である。

「この1年間、けがや病気で学校を欠席したことがない」と回答した割合が、韓国は4か国中最も高く、米国は最も低い。

最も大きいけがをした場所について、日本は「学校の運動場や屋外の運動場」が最も多く、「学校の体育館や講堂」も1割を超え、米中韓に比べて高い。米国は「自宅内」が4割弱で、突出して高い。

この1年間、けがや病気で病院などで治療を受けた回数について、「4回以上」と回答した者の割合は日本23.2%、韓国19.7%、米国9.6%、中国5.3%の順となっている。一方、「ない」と回答した者の割合は、中国が53.9%となっていて、日米韓の3割強を上回った（図1-3）。

また、この1年間、けがや病気で学校を欠席した日数について、「全くない」と回答した者の割合は、韓国が84.2%であるのに対し、米国は27.2%となっている。「4日以上欠席した」の割合は、米国が18.8%と、他の3か国と比べて高い（図1-4）。

最も大きいけがや病気をした場所について、4か国とも「学校の運動場や屋外の運動場」と「自宅内」が多い。米国は「自宅内」が39.4%で、突出して高い。日本は、「学校の体育館や講堂」の割合が12.6%で、他の3か国と比べて高い。中国は「自宅周辺の道路」（9.1%）、韓国は「学校の教室」（10.4%）がそれぞれ他の国と比べて高い。（図1-5）。

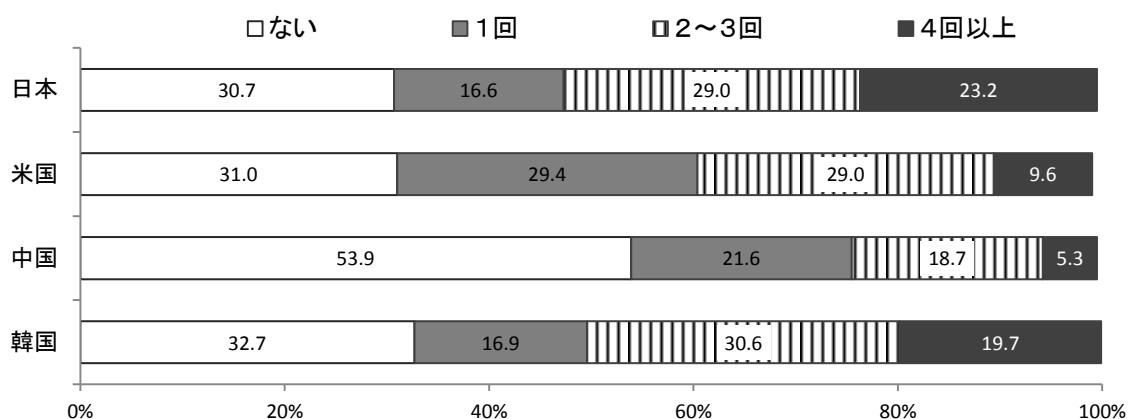


図1-3 この1年間、けがや病気で病院や診療所などで治療を受けた回数

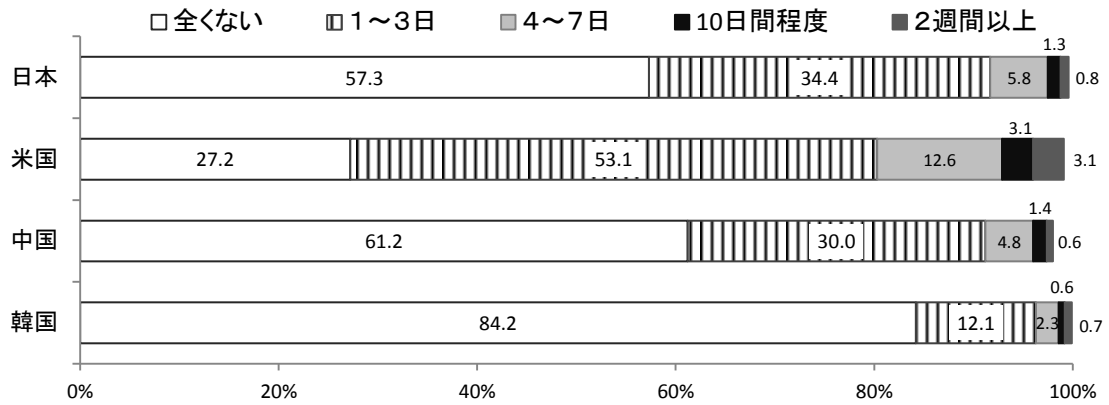


図1-4 この1年間、けがや病気で学校を欠席した日数

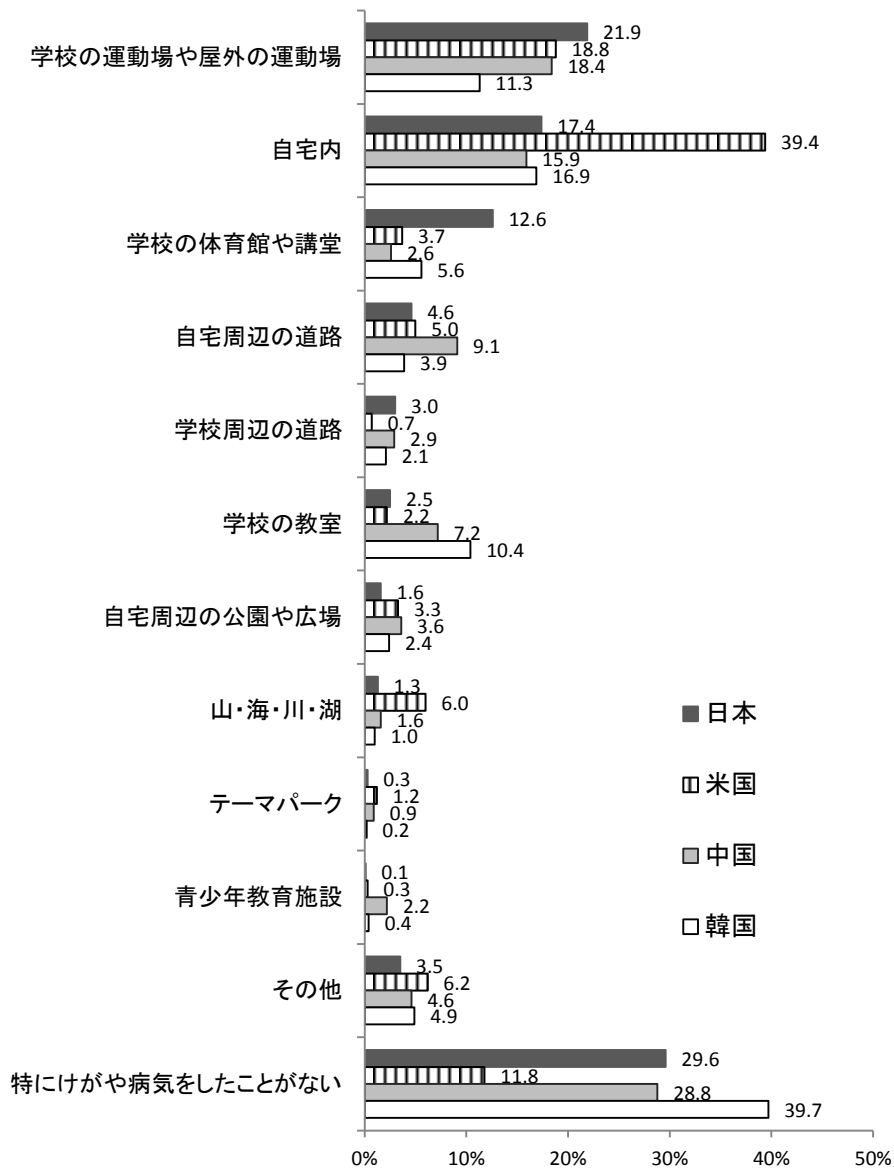


図1-5 この1年間、最も大きいけがや病気をした場所(単一回答)